

消防局 令和7年度 局運営方針（案）

1 主な現状と課題

近年、建築物の高層化及び大規模化が進み、用途や管理形態の多様化が進むなか、消防活動の困難性がより一層高まっていることや、爆発物等を用いたテロ事案、感染症、災害級の猛暑等、消防を取り巻く環境の変化に対して、真に災害に強いレジリエントシティを実現するために強固な消防組織の構築が求められます。

令和6年1月の能登半島地震では最大震度7の揺れが観測され、家屋倒壊、大規模火災及び津波等による甚大な被害が発生しました。8月には宮崎県日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生し、気象庁からはじめて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。

今後、首都直下地震や台風・線状降水帯等による風水害などの発生も危惧されるなか、消防署所の整備、消防車両及び人員の増強を着実に遂行するとともに、地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図ることで市民の安全・安心を守る必要があります。

また、超高齢社会における住宅火災の被害状況を踏まえ、高齢者世帯に重点を置いた防火対策指導に取り組むとともに、火災予防の普及啓発、立入検査の実施及び事業者を対象とした講習会の開催等、防火安全対策の徹底を図る必要があります。

令和6年中の救急出場件数は8万6千件を超え、3年連続で過去最多となったことから、救急需要の増加に即応可能な救急体制の充実や、救急現場に居合わせた市民が、適切な応急手当を実施できるよう普及啓発等に取り組む必要があります。

さらに、救急ワークステーションにおいて、消防と市立病院との相互協力により救急隊員への教育体制を充実させるとともに、ドクターカーの運行支援を行うことで、本市における救急体制の向上を図っていく必要があります。

【消防隊活動訓練】



【高齢者世帯への防火訪問】



【救急活動中の救急隊】



【救急ワークステーションにおける教育訓練】



（１）複雑多様化する災害への対応

本市の消防力は、「さいたま市消防力整備計画」に基づき、消防署所、消防車両及び人員を計画的に整備しています。引き続き、（仮称）岩槻消防署城南地区出張所の整備を進めるとともに、消防車両・人員配置を見直し、複雑多様化する災害に備えた大型水槽車等の増強、消防車両の更新及び人員の増員を図ります。

社会情勢の変化に伴う各種災害に迅速的確な対応を図るとともに、持続可能で効果的な消防体制を構築することが求められています。

特に人口の増加や高齢化に伴う災害件数の増加に対して、安全・確実・迅速な消防サービスの提供を継続するために、119番通報の受信及び消防車両の出場指令を担う消防緊急情報システムの更新に向け、実施設計等に着手します。

また、あらゆる災害に的確に対応できるよう、教育機関研修及び資格取得研修等の各種研修を通じて、消防職員の専門的な知識や技術の習得を図ります。

【（仮称）岩槻消防署
城南地区出張所イメージ図】



【特殊災害対応訓練】



【指令センター】



【新規採用職員研修】



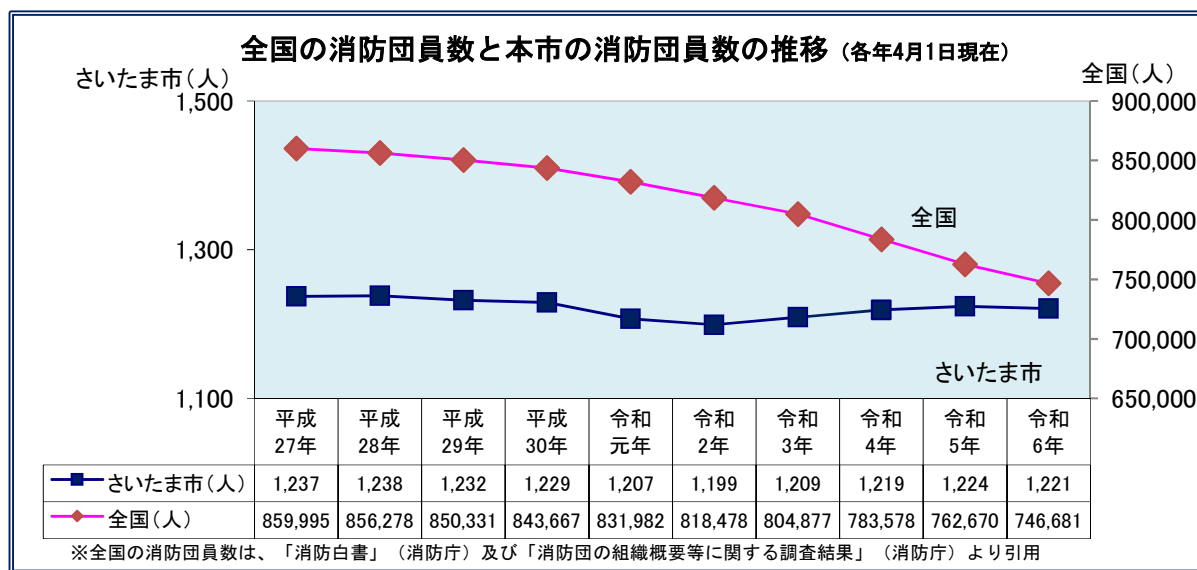
（２）発生が危惧される大規模災害への対応

令和6年8月の台風第10号による被害では、埼玉県内約40市町を対象に大雨警報が発表され、本市は警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されました。今後も大規模な風水害の発生が危惧されることから、土砂・風水害等の多種多様な災害事象に対応できる隊員の育成を行うとともに、消防団との連携強化を図る必要があります。

一方で、地震等の大規模災害時の消防体制を維持するために、活動拠点となる消防署所の中規模修繕工事を行うとともに、経年による損耗に対する復旧措置を講じます。

また、消火活動に必要な消火栓を常時使用できるように維持管理し、耐震性防火水槽の整備及び老朽化した既存防火水槽の長寿命（耐震）化を実施します。

さらに、本市においても大きな自然災害が起こり得ることを想定し、地域防災の中核的存在である消防団の更なる充実強化に向けた活動基盤の整備に取り組みます。



【消防団による大規模災害想定訓練】



【耐震性防火水槽設置工事】



(3) 火災による被害の軽減

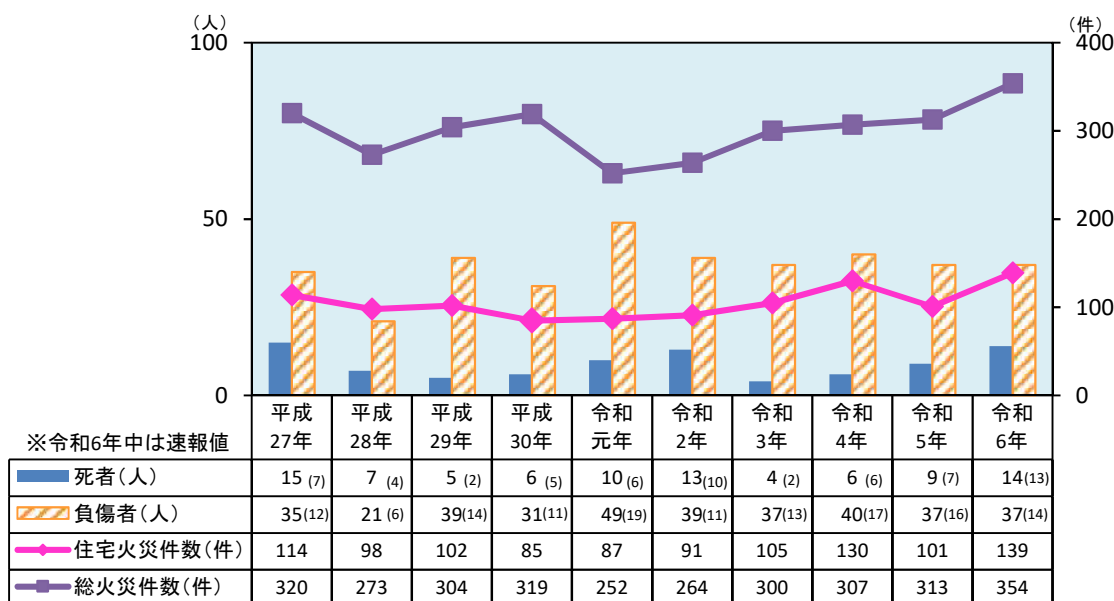
超高齢社会において、住宅火災における被害の増加が懸念されているなか、本市における過去10年間の住宅火災による死者のうち、約7割が65歳以上の高齢者であることから、高齢者世帯に重点を置いた防火訪問を実施し、防火安全対策指導、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の推進を図っていく必要があります。

また、市民等の防火防災意識の高揚を図るため、防災展示ホールの利用促進を図り、防火防災について学習する機会を提供していくとともに、市立小学校等で使用するタブレット端末へ電子化した児童用防火冊子を配信し、児童期における防火防災教育を充実していくほか、将来の防火防災の担い手となる少年消防団員の育成を図ります。

さらに、市内で発生した火災の出火原因から失火防止対策を検討し、各種広報媒体等を活用した火災予防の普及啓発を図ります。

加えて、防火対象物等の火災、事故の発生防止及び被害の軽減を図るため、立入検査を実施するとともに、類似火災の発生及び危険物等の事故防止を目的に、事業者を対象とした講習会を開催し、防火安全対策の徹底を図ります。

過去10年間ににおける本市の住宅火災件数等の推移（年中）



※令和6年中は速報値
※死者は放火自殺者を除き、()内は65歳以上の高齢者の内数

【電子化した児童用防火冊子】

ゲーム機やおもちゃには、電池が多く使われています。電池には充電してくり返し使えるものと、1度使ってしまうと使えないものの2種類があります。使い切りの電池を充電したり、電池を分解することは、大変危険なのでやめましょう。



【火災予防対策講習会オンデマンド講習】



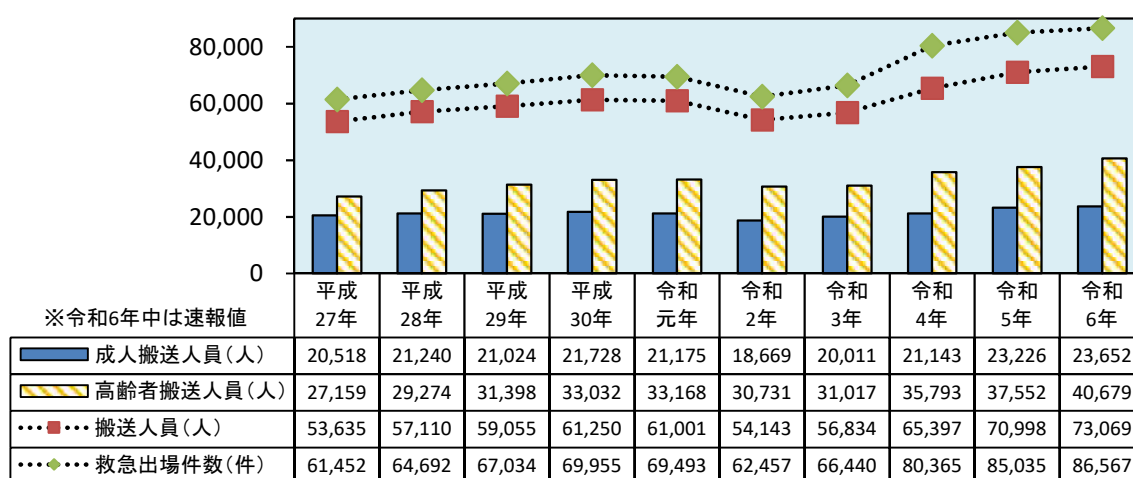
（４）救急需要増加への対応と応急手当の普及啓発

令和6年中の救急出場件数は8万6千件を超え、過去最多となりました。年齢区分別搬送状況を見ると、平成27年から10年連続で高齢者層（65歳以上）が成人層（18歳～64歳）を上回っている状況となり、今後、更なる高齢化や人口増加により救急出場件数の増加が見込まれます。これらの状況を踏まえ、救急活動の円滑化をはじめ救急需要の増加に対応するため、消防局に日勤救急隊を新設し、武蔵浦和地区の救急体制を強化します。

また、救急現場に居合わせた市民が、適切な応急手当を実施できるよう、「応急手当学習室」を活用した応急手当講習を推進するとともに、応急手当の指導を担える応急手当普及員の養成を促進し、応急手当の普及啓発を図ります。

さらに、さいたま市立病院に設置する救急ワークステーションにおいて、消防と市立病院との相互協力による救急隊員への教育体制を充実させるとともに、ドクターカーの運行支援を行うことで、本市における救急体制の向上を図ります。

過去10年間における救急出場件数と搬送人員の推移（年中）



【ドクターカー運行支援】



【応急手当学習室での講習】



2 基本方針・区分別主要事業

135万市民の生命、身体及び財産を大規模・多様化する各種災害から保護するため、消防力を計画的に整備し、消防職員等への教育や訓練の充実により、消防活動能力の向上を図ります。

また、市民・事業者の防火防災意識の高揚を図り、火災の予防や災害による被害の軽減を図ります。

さらに、救急需要対策に取り組むとともに、市民の応急手当の知識と技術の習得を推進します。

(1) 複雑多様化する災害への対応

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
1	拡大 総振	さいたま市消防力整備計画に基づく消防力等の体制強化 〔消防企画課、消防施設課、警防課、救急課、指令課〕	883,754 (34,246)	483,660 (135,352)	消防・救急体制の充実強化を図るため、さいたま市消防力整備計画に基づき、消防署所の更新整備並びに消防車両及び人員の増強整備を実施します。	Ⅱ-475, 476 Ⅱ-480, 482 Ⅱ-483, 484 Ⅱ-485
2		職員研修事業 〔消防職員課〕	43,028 (43,028)	42,664 (42,664)	職員の職務遂行上必要な知識及び技術の向上につながる人材育成を図ります。	Ⅱ-477
3		消防車両等の更新整備 〔警防課〕	892,480 (14,639)	977,142 (47,301)	各種災害に的確に対応するため、老朽化した消防車両等の更新整備を行います。	Ⅱ-485
4		消防救急デジタル無線基地局設備の更新 〔指令課〕	599,500 (0)	600,000 (0)	複雑多様化する災害に対し、消防部隊を適切に運用するため、消防救急デジタル無線基地局設備の更新を行います。	Ⅱ-482
5	拡大	次期消防緊急情報システムの整備 〔警防課、指令課〕	67,747 (51,847)	25,833 (17,933)	市民からの119番通報を確実に受信し、消防部隊への迅速な出場指令を実現するため、次期消防緊急情報システムの整備に係る設計等を行います。	Ⅱ-480 Ⅱ-482

(2) 発生が危惧される大規模災害への対応

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
6		警防業務推進事業 〔警防課〕	52,854 (52,854)	57,442 (57,442)	消防部隊の教育訓練及び資機材の整備を実施します。	Ⅱ-480
7	拡大 総振	消防団員の処遇改善等による消防団の充実強化 〔消防団活躍推進室〕	239,005 (216,501)	153,301 (150,428)	地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図るため、消防団員の処遇改善や確保対策を行うとともに、各種装備等を整備します。	Ⅱ-482

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

* () 内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
8	総振	分団車庫の整備による消防団の充実強化 〔消防施設課〕	53,755 (46,955)	274,074 (18,774)	消防団の充実強化を図るため、さいたま市消防団充実強化計画に基づき、分団車庫の基本・実施設計等を行います。	Ⅱ-483
9	新規 総振	消防団支援アプリの導入による消防団の充実強化 〔消防団活躍推進室〕	2,182 (1,091)	0 (0)	消防団活動の負担を軽減し、消防団員がやりがいを持って活動できる環境を構築するため、消防団支援アプリを導入します。	Ⅱ-482
10	拡大	耐震性防火水槽の整備 〔消防施設課〕	122,296 (46,803)	88,954 (20,156)	耐震性防火水槽の新設に伴う設計及び設置工事並びに既存防火水槽の撤去工事等を行います。	Ⅱ-484
11		既存防火水槽の長寿命化 〔消防施設課〕	99,759 (159)	93,126 (4,226)	老朽化した防火水槽の長寿命化に伴う設計及び改修（耐震化）工事を行います。	Ⅱ-484
12		消火栓維持管理 〔消防施設課〕	56,003 (56,003)	58,250 (58,250)	消火栓が常時使用できるように維持管理を行います。	Ⅱ-484
13		消防施設の予防保全 〔消防施設課、指令課〕	111,159 (17,568)	566,413 (173,402)	消防署所の機能維持を図るため、経年による損耗及び機能低下に対する復旧措置を行います。	Ⅱ-482 Ⅱ-483

(3) 火災による被害の軽減

* () 内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
14	総振	火災予防対策の推進 〔予防課、査察指導課〕	1,629 (1,519)	1,809 (1,711)	高齢者家庭防火訪問の実施及び各種広報媒体を活用した火災予防普及啓発の実施並びに事業者向け講習会を開催します。	Ⅱ-478
15	総振	消防防災学習施設の充実 〔予防課〕	5,009 (5,009)	4,843 (4,843)	災害等の疑似体験を通じて市民の防火防災意識の向上を図るため、消防防災学習施設の管理及び運営を行います。	Ⅱ-478

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

(4) 救急需要増加への対応と応急手当の普及啓発

* () 内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和7年度	令和6年度	説明	掲載 ページ
16	総振	応急手当の普及啓発 〔救急課〕	3,653 (3,628)	3,698 (3,673)	救急現場に居合わせた市民が、適切に応急手当を実施できるよう、応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。	Ⅱ-481
17	総振	円滑な救急活動の推進 〔救急課〕	1,540 (1,540)	1,219 (1,219)	適切な医療機関へ速やかに搬送を行うため、緊急時医療情報パス・緊急時安心キットの普及に向けた取組を行います。	Ⅱ-480
18	総振	救急ワークステーションの活用による救護体制の強化 〔救急指導室、警防課、指令課〕	5,042 (5,042)	5,277 (5,277)	市民が求める救急医療を提供するため、消防と市立病院との相互協力体制により、本市における救急体制と地域医療の向上を実現します。	Ⅱ-481 Ⅱ-482 Ⅱ-484

3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位：kg-CO2)

課名等	事業名	取組の内容	CO2削減量
消防施設課	桜環境センターのグリーン電力活用	消防局庁舎、防災センター庁舎、消防署等において、桜環境センターで発電されたグリーン電力を活用することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	1,640,769.0
消防施設課	消防施設照明のLED化	消防施設の照明器具をLED化することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	159,702.0
消防施設課	北消防署植竹出張所中規模修繕工事	北消防署植竹出張所の予防保全に伴う中規模修繕工事において、空調設備等を更新することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	30,569.7
予防課 指令課	紙使用量削減の実施	少年消防団員への案内送付や、119番のかけ方リーフレットを電子化し、紙の使用量を削減することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	22.9

4 見直し事業一覧

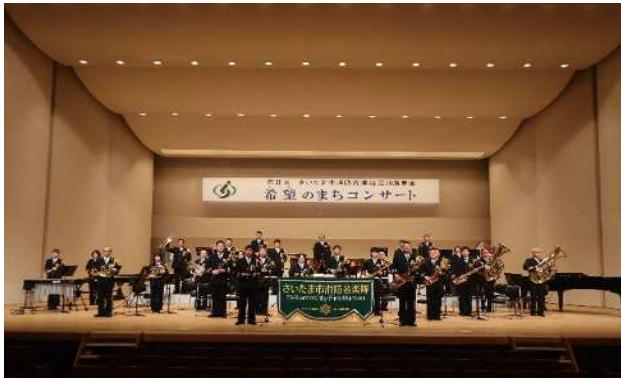
(単位：千円)

事務事業名	主な事業	見直しの理由及び内容	見直し額
消防局運営事業	執務環境の維持管理	寝具の消毒乾燥の実施回数の見直し及び電子化の推進によりコピー使用枚数を見直し、予算額を縮小する。	△ 425
消防局運営事業	消防活動に要する被服等の調達	給貸与する被服の品目等を見直し、予算額を縮小する。	△ 897
火災予防推進事業	火災予防対策の推進	過去の実績等を踏まえた見直しにより印刷製本費及び通信運搬費の予算額を縮小する。	△ 192
火災予防推進事業	火災予防の普及啓発	過去の実績等を踏まえた見直しにより、消耗品費、印刷製本費、修繕料、通信運搬費及び手数料の予算額を縮小する。	△ 393
予防規制等推進事業	消防同意・検査等事務	過去の実績等を踏まえた見直しにより、消防同意に係る消耗品費の予算額を縮小する。	△ 126
警防業務推進事業	警防業務推進事業	各種消耗品の購入数を見直し、予算額を縮小する。	△ 4,460
救急業務推進事業	救急業務の体制維持	救急資器材の購入品目を見直し、予算額を縮小する。	△ 543
救急高度化推進事業	応急手当の普及啓発	応急手当講習テキスト、救命講習修了証及び消耗品の必要数等を見直し、予算額を縮小する。	△ 45
救急技能管理事業	病院前救護体制の強化	病院実習派遣先との協議により、実習に伴う報償費を縮小し、過去の実績等を踏まえた見直しにより、事務用品購入費用の予算を縮小する。	△ 1,866
指令業務推進事業	指令管制及び消防通信の体制維持	消防署所電話通信費について、過去の実績等を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 1,013
消防団運営事業	消防団組織運営の維持	交換用被服の品目及び対象人数並びに証明書申請回数を見直し、消耗品費及び手数料の予算額を縮小する。	△ 151
消防施設等維持管理事業	消防力等の体制強化	電気使用料について、過年度の節電状況を基に使用量を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,492
消防施設等維持管理事業	消防施設の維持管理	電気使用料について、過年度の節電状況を基に使用量を見直し、予算額を縮小する。	△ 7,459

※上記のほか、3件△17千円の見直し額あり。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防業務推進事業			予算額	18,110
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	18,110
<事業の目的・内容> 消防局事務の執行及び消防協力体制の管理運営を行います。 消防音楽隊による演奏活動を通じて消防行政全般について広報を行い、市民の消防行政に対する理解を深め、防火防災意識の高揚を図ります。			前年度予算額	17,592
			増減	518
<主な事業>				
1 消防業務の推進		7,817	[参考]	
消防局の広報事務、表彰事務、文書事務、郵便料の執行及び消防協力体制等の管理運営を行います。				
2 消防音楽隊に関する事務		10,293		
演奏活動を通じて消防行政全般について広報を行うため、消防音楽隊の運営を行います。				
さいたま市消防音楽隊				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防局運営事業			予算額	108,517
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	108,517
＜事業の目的・内容＞ 消防局及び消防署所の執務環境を維持するための物品及び消防活動に必要な消防活動用被服の調達等を行います。				
			前年度予算額 109,852	
			増減 △ 1,335	
＜主な事業＞				
1 消防力等の体制強化 507				
増隊した北消防署植竹出張所の救急隊等の物品及び消防活動用被服等の調達を行います。				
[総振：10-1-3-01]				
2 執務環境の維持管理 13,142				
消防局及び消防署所の執務環境の維持に必要な複写機及び寝具の借上げや、共通備品の払出し等を行います。				
3 消防活動に要する被服等の調達 94,868				
消防活動を安全かつ円滑に遂行するために必要な消防活動用被服等の調達を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防署運営事業			予算額	5,818
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	5,818
＜事業の目的・内容＞ 消防署所における、消防事務の執行及び執務環境の維持に必要な物品の調達等を行います。				
			前年度予算額 5,855	
			増減 △ 37	
＜主な事業＞				
1 消防力等の体制強化		66		
増隊した北消防署植竹出張所の救急隊等の執務環境を維持するため、必要な消耗品の調達等を行います。				
[総振：10-1-3-01]				
2 消防署所に係る物品等の調達		5,752		
消防署所における執務環境を維持するため、必要な消耗品及び庁用備品の調達等を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防企画管理事業			予算額	1,915
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	1,915
<事業の目的・内容> さいたま市消防力整備計画の総合調整及び進行管理を行います。 また、消防業務に起因する損害について対応する保険の事務及び関係機関との連絡調整等を行います。				
			前年度予算額	2,012
			増減	△ 97
<主な事業>				
1 損害賠償事務		1,902		
消防法に基づく消火、救助、救急等の活動に起因する損害賠償に係る保険事務を行います。				
2 総務省消防庁連絡調整等		13		
総務省消防庁及びその他関係機関との連絡調整、情報収集等を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員研修事業（消防職員課）			予算額	43,028
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	43,028
<事業の目的・内容> 職員が、職務の遂行上必要不可欠な知識、技術、資格等を修得し、消防活動能力の向上及び職員の人材育成を促進させ、市民ニーズに的確に対応することを目的として、消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。				
			前年度予算額 42,664	
			増減 364	
<主な事業>				
1 職員研修事業		43,028		
職員が、職務の遂行上必要不可欠な知識、技術、資格等を修得するため、各種研修を実施します。 また、職場における安全運転を確保するため、安全運転管理者を選任し、安全運転の教育を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員管理厚生事業			予算額	12,176
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	24款 諸収入	26
<事業の目的・内容> 職員の安全の確保と健康の保持及び増進を図り、快適な職場環境を整備することを目的に、職員の労働安全衛生と健康管理についての事業を実施します。			- 一般財源	12,150
			前年度予算額	12,753
			増減	△ 577
<主な事業>				
1 職員管理厚生事業			12,176	
労働安全衛生法に基づき、消防局及び各消防署に産業医を選任し、職員の健康管理及び職場環境の改善を図ります。また、消防力を低下させないために、災害現場で活動する職員に対し予防接種を実施します。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 火災予防推進事業			予算額	23,337
局/部/課	消防局/予防部/予防課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	17款 使用料及び手数料	100
<事業の目的・内容> 住宅防火対策をはじめとした各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のため、調査技術の向上を図るとともに、火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。 また、災害等の疑似体験を通じて市民の防火防災意識の高揚を図るため、消防防災学習施設の管理及び運営を行います。			- 一般財源	23,237
			前年度予算額	24,839
			増減	△ 1,502
<主な事業>				
1 火災予防対策の推進	1,519	4 火災調査業務	12,565	
火災の発生防止と火災による被害を軽減するため、防火訪問を実施し、各種防火対策について指導するとともに、住宅用火災警報器の設置及び維持管理を推進します。 [総振：10-1-3-04]		類似火災等の発生を防止するため、火災原因の究明に必要な資機材を整備し、究明した結果を火災予防に反映します。		
2 消防防災学習施設の充実	5,009			
市民の防火防災意識の高揚を図るため、災害等の疑似体験を提供する消防防災学習施設の管理及び運営を行います。 [総振：10-1-3-05]				
3 火災予防の普及啓発	4,244			
市民の火災予防に対する意識の高揚を図るため、積極的に広報し、火災予防思想を普及啓発します。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 予防規制等推進事業			予算額	5,350
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	17款 使用料及び手数料	5,350
<事業の目的・内容> 消防法及び関係法令に基づき、火災、事故の発生防止及び被害の軽減を図るための審査及び検査等を実施します。 また、類似火災の発生防止及び危険物等の事故防止を目的に、事業者を対象とした講習会を開催し、火災予防の推進を図ります。			前年度予算額	5,759
			増減	△ 409
<主な事業>				
1 火災予防対策の推進	110	4 危険物規制事務	572	
類似火災の発生防止及び危険物等の事故防止を目的に、事業者を対象とした講習会を開催し、火災予防の推進を図ります。 [総振：10-1-3-04]		危険物施設に係る許可等の審査及び完成検査並びに届出・申請等の受付処理を行います。		
2 査察事務	1,830	5 火薬類・高圧ガス及び液化石油ガス規制事務	1,330	
事業所に対し、消防法令の現行基準及び法令改正基準へ適合するよう査察を行います。		火薬類施設、高圧ガス施設及び液化石油ガス施設に係る許可等の審査及び完成検査並びに届出・申請等の受付処理を行います。		
3 消防同意・検査等事務	1,508			
建築確認申請等の消防同意に必要な審査、消防用設備等の検査及び設置に関する指導並びに届出・申請等の受付処理を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備運営事業			予算額	624
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	624
<事業の目的・内容> 本市は、全国消防長会の「技術委員会」委員長都市を担っており、消防機械器具、装備品、通信機器の研究開発及び改善並びに諸課題の解決に向けた審議等の対応を行います。				
			前年度予算額	594
			増減	30
<主な事業>				
1 消防装備運営事業			624	
全国消防長会技術委員会及び常任委員会を開催します。				
技術委員会 令和7年5月中旬（福岡県北九州市）				
常任委員会 令和7年11月中旬（香川県東かがわ市）				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害対策事業			予算額	1,000
局/部/課	消防局/警防部/警防課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	18款 国庫支出金	1,000
＜事業の目的・内容＞ 消防の広域応援体制として「緊急消防援助隊」が法制化され、本市では現在58隊を登録していることから、当該部隊が常時出動要請に即応できる態勢を整備します。				
			前年度予算額 1,000	
			増減 0	
＜主な事業＞				
1 災害対策事業		1,000		
緊急消防援助隊の登録部隊に対して出動要請があった際に、応援先への出動及び活動に必要な経費を支出します。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 警防業務推進事業			予算額	57,387
局/部/課	消防局/警防部/警防課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	57,387
＜事業の目的・内容＞ 大規模化、複雑多様化する災害に対する確な対応を行うため、消防部隊に対する教育訓練の実施及び消防活動用資機材の整備を行い、警防体制の強化を図ります。				
			前年度予算額 57,465	
			増減 △ 78	
＜主な事業＞				
1 消防力等の体制強化		23		
増隊した緑消防署美園出張所のポンプ隊に必要な資機材等の整備を行います。				
[総振：10-1-3-01]				
2 警防業務推進事業		52,854		
隊員の育成、部隊活動能力の強化を図るため、各種研修及び訓練を実施します。				
効果的な消防活動を行うため、消防活動用資機材の整備及び点検を行います。				
3 次期消防緊急情報システムの整備		4,510		
次期消防緊急情報システムの整備に必要な消防局庁舎の改修に伴い、警防本部情報システムの移設を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急業務推進事業			予算額	51,173
局/部/課	消防局/警防部/救急課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	24款 諸収入	3,108
<事業の目的・内容> 市民からの救急要請に対応するため、救急活動に必要な資器材を整備します。 また、傷病者の情報を迅速に把握し、医療機関に速やかに搬送するため、円滑な救急活動を推進します。			- 一般財源	48,065
			前年度予算額	50,254
			増減	919
<主な事業>				
1 消防力等の体制強化		2,579		
消防局日勤救急隊の新設等に伴う救急資器材等の整備を行います。				
		[総振：10-1-3-01]		
2 円滑な救急活動の推進		1,540		
高齢者宅等の救急現場において、傷病者の情報を迅速に把握し、医療機関へ速やかに搬送するため、緊急時安心キットの普及及び広報を行います。				
		[総振：10-1-3-07]		
3 救急業務の体制維持		47,054		
救急活動に必要な資器材の整備を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急高度化推進事業			予算額	13,485
局/部/課	消防局/警防部/救急課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	24款 諸収入	25
<事業の目的・内容> 救急現場に居合わせた市民が、適切に応急手当を実施できるよう、応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。 また、市民に対して高度な救急サービスを提供するため、救急資器材等の維持管理を行います。			- 一般財源	13,460
			前年度予算額	15,803
			増減	△ 2,318
<主な事業> 1 応急手当の普及啓発 3,653 応急手当実施率の向上を図るため、応急手当の普及啓発及び指導者の養成を行います。また、必要な訓練用資器材の整備を行います。 〔総振：10-1-3-06〕 2 AED等の維持管理 4,301 消防庁舎及び消防車両に配備しているAED等の維持管理を行います。				
3 自動心臓マッサージ器の維持管理 5,531 市民に対して高度な救急サービスを提供するため、救急自動車に配備している自動心臓マッサージ器の維持管理を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急技能管理事業			予算額	11,544
局/部/課	消防局/警防部/救急指導室		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	- 一般財源	11,544
<事業の目的・内容> 市民の救急要請に際して、高度な救急サービスを提供するため、病院前救護体制の強化を図ります。			前年度予算額	13,737
			増減	△ 2,193
<主な事業> 1 救急ワークステーションの活用による救護体制の強化 4,013 消防と市立病院との相互協力体制により救急ワークステーションを運用します。 〔総振：10-1-3-08〕 2 病院前救護体制の強化 7,531 救急医療機関との連携を図るとともに、救急救命士をはじめとする救急隊員に対し、知識や技術の維持・向上のための教育を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 指令業務推進事業			予算額	1,528,805
局/部/課	消防局/警防部/指令課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書 P. 273	17款 使用料及び手数料	200
<事業の目的・内容> 消防緊急情報システムの維持管理を行い、万全な指令管制体制を維持します。 また、消防活動に有効な消防通信を行うため、通信設備の維持管理及び電波法に基づいた無線運用を行います。			25款 市債	615,400
			- 一般財源	913,205
			前年度予算額	1,568,299
			増減	△ 39,494
<主な事業>				
1 消防力等の体制強化	1,331	4 指令管制及び消防通信の体制維持	846,776	
消防局日勤救急隊の新設に伴う救急隊事務端末の配備を行います。また、北消防署植竹出張所の救急隊の増隊等に伴い整備した署活動用無線機及び救急隊事務端末の維持管理を行います。 [総振：10-1-3-01]		市民からの119番通報に対し、消防部隊へ迅速な出動指令を行うため、消防緊急情報システムの維持管理を行います。また、消防活動を迅速かつ安全に遂行するため、通信設備の維持管理及び適切な無線運用を行います。		
2 消防施設の予防保全	17,468	5 消防救急デジタル無線基地局設備の更新	599,500	
北消防署植竹出張所の中規模修繕工事に伴い、指令関連装置の移設を行います。		複雑多様化する災害に対し、消防部隊を適切に運用するため、消防救急デジタル無線基地局設備の更新を行います。		
3 救急ワークステーションの活用による救護体制の強化	493	6 次期消防緊急情報システムの整備	63,237	
救急ワークステーションの体制強化を図るため整備した、救急隊事務端末の維持管理を行います。 [総振：10-1-3-08]		市民からの119番通報を確実に受信し、消防部隊への迅速な出動指令を実現するため、次期消防緊急情報システムを整備するための実施設計等を行います。		

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防団運営事業			予算額	330,111
局/部/課	消防局/総務部/消防団活躍推進室		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/2目 非常備消防費	予算書 P. 273	18款 国庫支出金	23,595
<事業の目的・内容> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために報酬等の支給や活動環境の整備、消防団員確保対策等の各種事業を行い、消防団の充実強化を図ります。 また、自警消防団の運営を支援するため、助成金を交付します。			24款 諸収入	27,417
			- 一般財源	279,099
			前年度予算額	247,755
<特記事項>			増減	82,356
<主な事業>				
1 消防団員の処遇改善等による消防団の充実強化	239,005	4 自警消防団への助成	1,150	
地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図るため、消防団員の処遇改善や確保対策を行うとともに、各種装備等を整備します。 [総振：10-1-3-02]		市内に組織された自警消防団の運営に必要な助成金を交付します。		
2 消防団支援アプリの導入による消防団の充実強化	2,182	5 消防出初式の開催	4,145	
消防団活動の負担を軽減し、消防団員がやりがいを持って活動できる環境を構築するため、消防団支援アプリを導入します。 [総振：10-1-3-02]		消防行政に対する理解と信頼を深めることを目的に、消防職・団員の士気高揚を図り、本市の消防力を広く市民に披露するため、消防出初式を開催します。		
3 消防団組織運営の維持	83,629			
消防団の円滑な運営及び活動環境維持のため、運営費の交付や公務災害補償に関する事務、退職報償金の支給、消防団員研修等の管理事務を行い、消防団組織を適正に運営します。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等維持管理事業			予算額	617,941
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書 P. 275	17款 使用料及び手数料	160
<事業の目的・内容> 消防局庁舎、消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等の遵守、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことで事故を防止し、職場環境の安全性及び衛生性の向上を図ります。			20款 財産収入	25,225
			22款 繰入金	23,491
			24款 諸収入	1,538
			25款 市債	122,700
			－ 一般財源	444,827
<特記事項> 西消防署及び南消防署東浦和出張所の中規模修繕工事が完了しました。			前年度予算額	1,170,810
			増減	△ 552,869
<主な事業>				
1 消防力等の体制強化		17,903	4 施設修繕	
(仮称) 岩槻消防署城南地区出張所の竣工後の庁舎の維持管理を行います。また、中央消防署において、消防施設の維持管理及び保守管理を行います。			災害対応及び防災の拠点施設となる消防庁舎の機能を維持するため必要となる施設修繕を行います。	
		[総振：10-1-3-01]		
2 消防施設の維持管理		314,659	5 消防施設の予防保全	
施設の維持に必要な消耗品の調達、光熱水費等の管理、敷地及び施設の維持管理を行います。			北消防署植竹出張所の中規模修繕工事をを行います。	
3 消防施設の保守管理・法定点検		75,821		
建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、施設及び設備の保守管理、法定点検を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等整備事業			予算額	736,343
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書 P. 275	25款 市債	683,500
<事業の目的・内容> 消防力等の体制強化及び消防署所を計画的に整備するため、消防庁舎建設工事等を行います。 また、消防団の充実強化に係る事業を推進するため、消防分団車庫の設計等を行います。			－ 一般財源	52,843
			前年度予算額	700,714
			増減	35,629
<主な事業>				
1 消防力等の体制強化		682,588		
(仮称) 岩槻消防署城南地区出張所の整備に係る建設工事等を行います。				
		[総振：10-1-3-01]		
2 分団車庫の整備による消防団の充実強化		53,755		
消防団の充実強化を図るため、さいたま市消防団充実強化計画に基づき、分団車庫の基本・実施設計等を行います。				
		[総振：10-1-3-02]		

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防水利整備事業			予算額	293,966
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書 P. 275	17款 使用料及び手数料	29
<事業の目的・内容> 消防水利の基準（消防庁告示）に基づき、耐震性防火水槽及び消火栓の設置を行うとともに、消防水利が常時使用できるように維持管理を行います。 また、老朽化した防火水槽の長寿命化を行います。			18款 国庫支出金	10,893
			25款 市債	164,200
			－ 一般財源	118,844
			前年度予算額	257,821
			増減	36,145
<主な事業>				
1 消火栓の設置及び防火水槽の維持管理等		15,908	4 消火栓維持管理	56,003
消防水利が不足している地域に消火栓を整備します。市内に設置されている防火水槽の修繕及び防火水槽用地の適正な維持管理を行います。消防水利の位置を示す黄線の引き直し修繕を行います。			消火栓が常時使用できるように維持管理を行います。	
2 耐震性防火水槽の整備		122,296		
耐震性防火水槽の新設に伴う設計及び設置工事並びに既存防火水槽の撤去工事等を行います。				
3 既存防火水槽の長寿命化		99,759		
老朽化した防火水槽の長寿命（耐震）化に伴う詳細設計及び改修工事を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等維持管理事業			予算額	268,560
局/部/課	消防局/警防部/警防課		〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書 P. 275	－ 一般財源	268,560
<事業の目的・内容> 各種災害に的確に対応するため、消防車両及び消防活動用資機材の維持管理を行います。 <特記事項> はしご付消防自動車オーバーホールに係る費用の拡大及び実施台数を増加します。			前年度予算額	208,237
			増減	60,323
<主な事業> 1 消防力等の体制強化6,045 消防局日勤救急隊の新設等に伴う車両の維持管理を行います。 [総振：10-1-3-01] 2 救急ワークステーションの活用による救護体制の強化536 救急ワークステーションの体制強化を図るため整備した、リース契約車両の維持管理を行います。 [総振：10-1-3-08] 3 消防車両等の維持管理261,979 消防車両の法令点検及び修理並びに消防活動用資機材、リース契約車両等の維持管理を行います。				

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等整備事業		予算額	1,065,192
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書 P. 275	
<事業の目的・内容> 消防力の充実強化を図るため、消防車両を計画的に整備します。		18款 国庫支出金	122,341
		25款 市債	925,900
		- 一般財源	16,951
		前年度予算額	1,019,057
		増減	46,135
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化		172,712	
複雑多様化する災害に対応するため、大型水槽車及び人員輸送車を増強します。 救急体制の充実強化を図るため、消防局日勤救急隊の新設に伴う救急自動車を整備します。 [総振：10-1-3-01]			
2 消防車両等の更新整備		892,480	
各種災害に的確に対応するため、老朽化した消防車両等の更新整備を行います。			